

議会から こんにちは

2026 **8.1**
令和8年



出流原小学校で閉校記念として行われた、ふれあい運動会
でのバルーンリリース(小倉議員撮影)

令和8年6月定例会

■一般質問に19人が登壇

さの
市議会だより

www.city.sano.lg.jp/gikai/

佐野市議会のライブ中継と録画配信をしています。→



佐野市議会

検索



佐野市議会スマート中継

検索



たちかわ しゅんいち
立川 俊一 議員
(佐野市の明日をつくる会)



※学校運営協議会について

Q 学校の統廃合の在り方に関して、学校運営協議会で熟議することは可能か、本市の見解を伺いたい。

教育部長

A 学校運営協議会は、保護者や地域住民等が当事者として学校運営に参画し、学校と地域が目標や課題を共有しながら、連携・協働による学校づくりを推進するための組織です。地域とともにある学校づくりを進める観点から、学校運営に関する事項や地域の教育課題について、熟議を重ねることが重要であるとされています。

学校の再編については、教育環境や地域コミュニティにも大きく関わる課題ですので、学校運営協議会において地域の実情や将来の学校の在り方について、意見交換や熟議を行うことは可能であると考えています。

その他の質問

☆カスターマーハラスメント対策について
☆施設一休型義務教育学校について

※学校運営協議会とは…

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組み。学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。



はぎわら まさお
穂原 政夫 議員
(令和みらい)



佐野市消防団再編計画について

Q 消防団の再編を実施することのメリットについて伺いたい。

消防長

A 消防団再編のメリットについては、分団を統合することにより、人員の集約と管轄区域の広域化を図り、迅速な初動対応と管轄区域内において、災害が複数発生した場合のマンパワー不足が解消されると考えています。

また、支団制を廃止することにより、旧佐野市、旧田沼町、旧葛生町の枠組みを超えた連携・協力体制の向上による災害対応力の強化が図られます。

その他の質問

☆「こどもまんなか社会」実現に向けての本市の取組について



おくら けんいち
小倉 健一 議員
(政友みらい)



教育行政について

Q 新教育長に就任された松本教育長は、どのような考えで今後佐野市の教育を担っていくのか。

教育長

教育行政において最も大切にしたいこと、価値観や考え方について伺いたい。

A 教育行政において最も大切にしたいと考えているのは、予測困難な時代であっても、子どもたちがたくましく、かつ、しなやかに生き抜く力を身につけ、自ら未来を切り開いていく人づくりという点です。

今年3月に策定された佐野市教育振興基本計画に掲げる、豊かな学びを通して、ふるさとを愛し、持続可能な社会の創り手を育む佐野市の教育は、この根幹となる理念であると認識しています。この理念を踏まえ、安全で安心であることを基盤にして、学ぶ楽しさや喜びを実感し、子どもたち一人ひとりが自分のよさや可能性を最大限に発揮できる教育環境づくりを進めるとともに、教職員がやりがいを持つて生き生きと教育活動に取り組める環境整備にも力を注いでいきます。

その他の質問

☆佐野市の交通について

と思います。



くろき 久保

(創政クラブ)
貴洋 議員新教育長就任にあたっての
所感について

Q 教育長就任を受けた現在の率直な思いについて伺いたい。

A 教育長

このたび教育長を拝命し、身に余る職責に身の引き締まる思いです。

現在、社会は急速に変化する中、時代を担う子どもたちにたくましく、かつしなやかに生き抜く力を育んでいくことが求められています。そのため、一人ひとりの個性や多様性を尊重しながら、安心して学び成長できる教育環境を整えていくことが重要だと考えています。

教育現場の声を大切にし、学校、保護者の皆様、地域の方々と丁寧に連携を図りながら、教育行政の推進に全力で取り組んでいきます。

その他の質問

- ☆本市の教育行政の方向性について
- ☆本市における気候変動の影響と状況について
- ☆命と健康を守る暑さ対策について
- ☆トイレトレーラーの運用について

子どもたち一人ひとりが安心して自分の良さや可能性を発揮し、自分の力で未来を切り開いていけるよう、誠心誠意努めていきます。



おおやま 大山

(政友みらい)
圭司 議員広域支援を見据えた地域防災力の
強化について

Q 災害時における避難所のトイレ環境の現状について伺いたい。

A 行政経営部長

現在58か所の避難所がありますが、断水時等、施設のトイレが使用できなくなった場合には、簡易トイレ、または既存施設の洋式トイレを活用し、専用の袋をセットして凝固剤で排せつ物を処理し、使用することになります。

国際的な基準では、発災直後の急性期において、50人あたり1基の簡易トイレを確保すると示されているので、本市においてはこの基準数を確保するため、国の補助金等を活用しながら計画的に備蓄数を増やしているところです。

また、本年度要配慮者でも利用しやすい自動ラッピングトイレの購入を予定しており、避難所のトイレ環境の充実に努めていきます。



ながはま 長浜

(佐野市の明日をつくる会)
成仁 議員

コスト意識について

Q 地方公共団体は、発生した行政コストが口スではないというところを市民に対して説明する責任を負っていると考えるが、本市の認識について伺いたい。

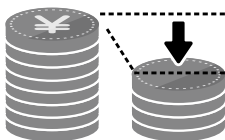
A 行政経営部長

行政サービスを提供する上で、各事業にどれくらいのコストが発生し、その事業の成果が、市民生活の向上にどのように貢献したのかを市民の皆様に説明する責任を負っている認識しています。

そのため、事務事業評価等の結果を本市のホームページで公表しており、その責任を果たしていると考えています。

その他の質問

- ☆高齢者の生きがいづくりについて
- ☆トイレトレーラーの汚水処理について
- ☆冬に開催予定の花火大会について



もてぎ
茂木あきお
明男 議員
(創政クラブ)

産後の子育て支援について

Q 滋賀県東近江市では、全国初の試みとして「見守りおむつ宅配便（乳児おむつ等支給事業）」が始まった。

本市でも産後ケア事業として、現在行われている乳児家庭全戸訪問事業（赤ちゃん訪問）とは別に、新たに月1回宅配員が母子の様子を見ながら、相談に乗るなどの「乳児見守りおむつ支給事業」の導入について、見解を伺いたい。

A こども福祉部長

乳児のいる世帯に対し、宅配員がおむつを配達しながら子育て家庭の不安解消と孤立防止を目的とした見守りを行う事例と認識しましたが、趣旨は、経済的支援にとどまらず、乳児家庭の見守りの大切さということで受け止めました。

本市における同様の取り組みの可能性については、事業効果や手法などを含め、調査研究していきたいと考えています。

その他の質問

- ☆みかもクリーンセンターについて
- ☆中学校・義務教育学校の部活動における対外試合の移動について

さわだ
澤田ひろゆき
裕之 議員
(創政クラブ)

あきやま学寮等4施設について

Q ※民間提案制度により活用方針が決まっても、何より地域住民の理解と共感が重要と考える。あきやま学寮等4施設に対して、民間提案制度を活用してどのように再生していくのか、地域にとっても重要であり、市の観光施設の新たな取り組みとしても貴重である。今後の取り組みについて伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長

佐野市観光施設民間提案制度による昨年度の募集では、応募に至った事業者がいなかったことを踏まえ、今年度は募集要項の見直しを検討し、再度事業者を募っていききたいと考えています。

また、今年度の応募状況によつては、来年度以降のあきやま学寮等4施設の在り方について、様々な面からの検討を進めていく必要があると考えています。

その他の質問

- ☆観光振興について
- ☆国際クリケット場の現状について
- ☆旧葛生小学校の活用について

※観光施設における民間提案制度とは…

自治体などが所有する土地や建物の利活用、運用について民間事業者から独創的なアイデアや事業計画を募集し、事業化を図る官民連携の手法です。

こもり
小森りゅういち
隆一 議員
(公明党議員会)

小中一貫校整備について

Q 検証委員会において、あそ野学園義務教育学校や葛生義務教育学校での検証結果も含めて、公正、平等な検証が必要と考えるが、見解を伺いたい。

A 教育部長

検証委員会の設置については、その必要性を判断するに当たり、検証の目的や対象、評価指標の設定、委員構成などを十分に整理し、慎重に対応する必要があります。これまでも学校評価や教育委員会の点検及び評価を通じて教育活動の確認を行うとともに、学校訪問や各種調査、保護者や地域の皆様からのご意見を通じて、学校運営上の課題の把握に努めています。

現時点では、こうした既存の検証や評価の仕組みを活用しながら、学校現場の状況や保護者、地域の皆様の声を丁寧把握し、課題の整理や改善に取り組んでいくことが重要と考えています。

教育委員会としては、今後も義務教育学校の運営状況を継続的に把握しながら、必要に応じて

その他の質問

- ☆防災・防犯の取り組みについて
- ☆RSウイルス感染症予防ワクチンについて

検証の在り方についても検討していきたいと考えています。



たなべ
田邊

なおみ
直美 議員
(創政クラブ)



子どものウェルビーイング向上と 教育環境について

Q 少人数学級の現状について、教育環境へどのように反映していくのか、考えを伺いたい。

A 教育長

1点目は、個別支援の充実です。35人学級のもと、学級担任に加え、支援員等が児童生徒への支援に当たること、よりきめ細かな指導や支援が可能となります。また、複数の教職員等が児童生徒を見守ることになり、一人ひとりの状況を多面的に把握し、それぞれの良さや可能性を伸ばす支援に繋げることができると考えています。このことは、児童生徒一人ひとりに寄り添った教育の充実や、多様な教育的ニーズに応じた支援の推進に繋がるものと認識しています。

2点目は、教員の負担軽減です。支援員等の充実により、教員が授業づくりや児童生徒との関わりにおいて、多くの時間を充てることができるなど、働き方改革の推進に資するものと考えています。

その他の質問

☆各種予防接種の周知及び啓発
方法と健康支援について



ほりかわ
堀川

えつろう
悦郎 議員
(創政クラブ)



児童生徒の命を守る対策について

Q 佐野市内小、中、義務教育学校への冷凍庫の設置について伺いたい。

A 教育部長

市立学校への冷凍庫の設置については、現在、天明小学校において試行的に実施している取り組みの状況を参考としながら、他の学校におけるネッククーラーをはじめとした熱中症対策の実施状況や、学校現場のニーズを把握し、その有効性について研究していきたいと考えています。

冷凍庫の設置に当たっては、設置スペースの確保や電源設備への対応、適切な管理運用体制の整備など、学校施設全体の整備計画や事業の優先順位などを踏まえ、総合的に研究していく必要があります。

教育委員会としては、児童生徒の安全確保を最優先に、学校と連携しながら熱中症対策の充実に努め、学

その他の質問

☆天明鋳物を核とした「選ばれる佐野市」への飛躍と官民協働による10000年の歴史の継承について
☆多文化共生社会の推進と外国人市民のための環境整備について
☆次期学習指導要領を見据えた本市の教育の展望と環境整備について

校施設の状況や整備計画等を踏まえ、検討していきます。



あきの
慶野

つねお
常夫 議員
(政友みらい)



本市の倒木対策について

Q 全国的に老木化した樹木の倒木事故が相次いでおり、人的被害や交通障害が発生するなど、樹木管理の重要性が高まっているが、本市が管理している道路及び都市公園の樹木点検は、どのような頻度、基準で実施しているのか伺いたい。

A 都市建設部長

道路における樹木の点検については、植栽管理業務委託により専門業者にて、道路緑化技術基準に基づき、年2回確認しています。

都市公園の樹木点検ですが、佐野市運動公園など5つの都市公園については、指定管理者が業務仕様書に基づき、日常業務の中で日々点検を行っています。その他の都市公園については、佐野市公園施設日常点検基準により、月2回職員が日常点検で確認をしています。

その他の質問

☆生活環境・家庭ごみ収集
(燃えるごみ)について





たきた ようこ
滝田 洋子 議員
(日本共産党議員団)



地区公民館でのインターネット環境整備について

Q 地区公民館にインターネット環境が整備されれば、若者の学習支援や高齢者のデジタル支援の拠点、災害時の情報拠点になると考えられるが、今後地区公民館でインターネット環境整備を行う考えはあるか伺いたい。

A 教育部長

今後については、本年度、各地区公民館で利用できるモバイルWi-Fiルーターを導入し、利用ニーズや施設の利用実態を把握するとともに、他自治体の取組事例や財源活用の可能性などについて調査を進め、地区公民館におけるインターネット環境整備の在り方について、検討していきたいと考えています。

その他の質問

☆防災行政無線について
☆国民健康保険税の滞納者について
☆重度心身障がい者医療費助成について



いのせ あけみ
猪瀬 朱美 議員
(未来の佐野を明るくする会)



佐野市こどもの国について

Q こどもの国は開館して26年がたったが、これから子どもたちにとって魅力ある施設であり続けるためにも、守るべきものは守り、変えるべきものは変えていくという視点で、現在のニーズに合った遊具への更新や、新たな遊びの導入について検討し、館内遊具のリニューアルをするべきと考えるが、本市の見解を伺いたい。

A こども福祉部長

遊具等のリニューアルについては、来館される皆様に楽しく快適に過ごしていただけるよう、遊具の更新やトイレなどの老朽化した設備の改修など、アンケート結果やこどもの国運営委員会の意見等を踏まえ、検討していきたいと思っています。

その他の質問

☆本市が取り組む生涯学習について



たに みえこ
谷 美枝子 議員
(公明党議員会)



※デマンド交通の利便性向上と移動支援について

Q より利用しやすい公共交通としていくために、デマンド交通を自宅前で乗車できる対象エリアの拡大について、今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

A 都市建設部長

デマンド交通を自宅前で乗車できる対象エリアの拡大については、地域における移動実態や利用ニーズ等を把握し、十分な検討に併せ、既存の公共交通と過度な競合を避けるため、タクシーなどの交通事業者との調整による検討が必要となつてきます。

現時点においては、既存エリアでの利用周知を図るとともに、デマンド交通を含む生活路線バス及びタクシーの機能を有効かつ最大限に生かして、利用促進に取り組んでいきたいと考えています。

その他の質問

☆給水スポット設置について

※デマンド交通
(需要応答型交通:DRT)とは…

決まった時刻表やルートを持たず、利用者の事前予約に合わせて運行する乗り合いの公共交通機関です。



栗崎 たくじ

(創政クラブ) 卓二 議員

第2次佐野市総合計画後期基本計画
国際交流・地域連携の推進について

Q 佐野市国際化推進戦略会議の提言に、多文化共生は全ての施策に関わりがあることから、国際戦略の基盤として位置付けることを検討するところがあるが、当局の見解を伺いたい。

A 市長

佐野市国際戦略において、戦略会議からの提言を踏まえ、その基本理念を「佐野に来てよかった」と実感できる世界とつながるまち」と掲げ、日本人市民にとっても外国人市民にとっても相互に心地よい多文化共生の環境づくりを進めるとともに、経済活動にも生かしていけるまちを目指していきますとしています。

また、これを実現するために、基本姿勢として、多文化共生のまちづくりを位置付け、戦略的展開をすることとしたところです。この国際戦略は、国際化に対する本市の方向性や考え方を示したものであり、この基本姿勢を活かしたまちづくりを進めるべく、後期基本計画においては国際戦略の推進を施策横断的取組に位置付け、全施策を挙げて推進をしていきます。

その他の質問

☆児童・生徒の交通安全指導について



横塚 としゆき

(創政クラブ) 剛 議員



本市の消防について

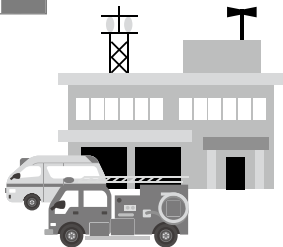
Q

消防団の再編について伺いたい。

A 消防長

消防団の再編については、指揮命令系統の明確化を図るとともに、支団制の見直し及び分団の統合を目的とし、令和8年3月に佐野市消防団再編計画を策定しました。支団制を廃止し、新たに3つの方面隊を創設することで、旧佐野市、旧田沼町、旧葛生町の枠組みを超えた連携協力体制の向上により、災害対応力の強化を図ります。

また、分団の統合により人員の集約と管轄区域の広域化を図り、迅速な初動対応と管轄区域内で災害が複数発生した場合のマンパワー不足が解消されるかと考えています。



その他の質問

☆本市の高齢者介護の現況と今後について
☆本市における桜の木について



早川 はやかわ

貴光 議員
(未来の佐野を明るくする会)中東情勢による原油・ナフサ供給不足による
本市の影響について**Q**

中東情勢による原油・ナフサ供給不足による本市の影響を伺いたい。

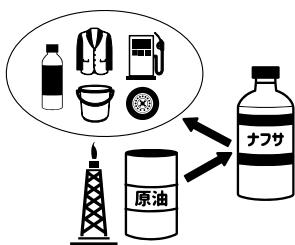
A 総合政策部長

目の前のコスト、物資不足への対応といった短期的な対応に加え、問題の根本的な解決に向け、脱化石燃料に向けた中長期的な構造転換のアプローチにより、原油やナフサへの依存度そのものを下げていくこと、そのような社会構造へ転換を進める必要があると思っています。

本市では、「ゼロカーボンシティさの」を掲げていますので、様々な取り組みを一層加速させていきたいと考えています。

その他の質問

☆第2次佐野市地域公共交通計画について
☆マイナンバーカードの運用及び市民サービス向上について



☆都市公園の管理について
☆ひきこもり支援について

その他の質問



目的としていますので、現在のところ低所得者に向けた新たな助成制度の創設についての考えはありません。今後は全庁的な課題であるという認識です。

A 農林環境部長

現在の制度は、温室効果ガスの排出削減を

Q 本市では現在、省エネ性能の優れた家電製品を対象とした購入支援の補助金制度はあるが、製品の価格が高額である。
省エネ基準がさらに大きく引き上げられ、省エネ基準100%未満のエアコンは、2027年4月から製造販売ができなくなる問題があり、今より更に高額になってしまう。低所得者が安全、快適に夏を過ごせるように、エアコンの購入の補助や低所得者にも対応できるような制度の創設について、見解を伺いたい。

熱中症対策について



鶴見 義明 議員
(日本共産党議員団)



令和8年第2回定例会（6月定例会）審議された議案等と結果

第2回定例会（6月定例会）は、6月5日（金）から6月22日（月）までの18日間の日程で行われました。審議された議案等とその結果は、次のとおりです。

議案番号等	件 名【内 容】	議決結果等	
—	菅原達議員に対する懲罰動議 【※議決結果は、懲罰特別委員会の委員長報告（懲罰を科さない）に対するもの】	懲罰を 科さない	賛成多数 （除斥1名） ※
決議案第1号	菅原達議長に対する不信任決議	否決	賛成少数 （除斥1名）
意見書案第1号	地域医療・介護提供体制の維持に向けた支援を求める意見書について 【詳細は12ページに記載】	原案可決	賛成多数
報告第1号	佐野市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について【令和8年度の事業計画、予算及び資金計画並びに令和7年度の決算】	報告	—
報告第2号	継続費繰越計算書の提出について【文化会館リニューアル事業 ほか1事業】	報告	—
報告第3号	繰越明許費繰越計算書の提出について【公共施設LED照明整備事業 ほか20事業】	報告	—
報告第4号	下水道事業会計予算繰越計算書の提出について【公共下水道汚水整備事業 ほか7事業】	報告	—
報告第5号	市長の専決処分事項の報告について【令和8年1月25日に発生した人身傷害事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報告	—
報告第6号	市長の専決処分事項の報告について【令和8年1月25日に発生した車両損傷事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報告	—
議案第66号	市長の専決処分事項の承認について【佐野市税条例の改正】	承認	賛成全員
議案第67号	市長の専決処分事項の承認について【佐野市都市計画税条例の改正】	承認	賛成全員

議案番号等	件 名【内 容】	議決結果等	
議案第68号	市長の専決処分事項の承認について【佐野市国民健康保険税条例の改正】	承認	賛成多数
議案第69号	市長の専決処分事項の承認について【令和7年度佐野市一般会計補正予算(第15号)の歳入歳出予算の総額にそれぞれ3,000千円を追加】	承認	賛成全員
議案第70号	市長の専決処分事項の承認について【令和7年度佐野市水道事業会計補正予算(第3号)の資本的支出の予定額に258千円を追加、職員給与費の予定額に258千円を追加】	承認	賛成全員
議案第71号	市長の専決処分事項の承認について【令和8年度佐野市一般会計補正予算(第1号)の歳入歳出予算の総額にそれぞれ57,027千円を追加】	承認	賛成全員
議案第72号	人権擁護委員候補者の推薦について【高澤 ^{たかざわ} 茂夫 ^{しげお} 氏を推薦】	推薦同意	賛成全員
議案第73号	人権擁護委員候補者の推薦について【藤波 ^{ふじなみ} 一博 ^{かずひろ} 氏を推薦】	推薦同意	賛成全員
議案第74号	人権擁護委員候補者の推薦について【福田 ^{ふくだ} 紳一 ^{しんいち} 氏を推薦】	推薦同意	賛成全員
議案第75号	人権擁護委員候補者の推薦について【谷 ^{たに} 恵子 ^{けいこ} 氏を推薦】	推薦同意	賛成全員
議案第76号	佐野市プロポーザル選定委員会条例の制定について【佐野市プロポーザル選定委員会を設置するための制定】	原案可決	賛成全員
議案第77号	佐野市税条例の改正について【地方税法等の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第78号	佐野市都市計画税条例の改正について【地方税法等の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第79号	佐野市立学校設置条例の改正について【佐野市立佐野義務教育学校を設置するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第80号	佐野市消防団条例の改正について【消防団組織の再編に伴い、支団長及び副支団長を廃止し、新たに方面隊長を設置するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第81号	(仮称)かえでこどもクラブ建設工事請負契約について【(仮称)かえでこどもクラブ建設工事契約の執行】	原案可決	賛成全員
議案第82号	佐野市文化会館リニューアル及び文化施設運営事業設計施工一括契約の変更について【佐野市文化会館リニューアル及び文化施設運営事業設計施工一括契約書に基づき物価変動に対応するための契約金額の変更】	原案可決	賛成全員
議案第83号	令和8年度佐野市一般会計補正予算(第2号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ41,800千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第84号	令和8年度佐野市一般会計補正予算(第3号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ229,735千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第85号	令和8年度佐野市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ770千円を追加】	原案可決	賛成全員
請願第1号	通学用スクールバスの運用形態に関する請願【詳細は11ページに記載】	採択	賛成全員
陳情第1号	医療・介護提供体制の維持に向けた意見書提出を求める陳情【詳細は11ページに記載】	採択	賛成多数
陳情第2号	こどもクラブの入所要件及び制度運用に関する陳情【詳細は11ページに記載】	採択	賛成多数

賛否が分かれた議案等

議案等番号	件名	議決結果	賛成	反対	議員名 [議席番号順]																							
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
					堀川悦郎	田邊直美	横塚剛	茂木明男	立川俊一	長浜成仁	谷美枝子	井川克彦	栗崎卓二	澤田裕之	蘆原政夫	神宮次秀樹	猪瀬朱美	早川貴光	大山圭司	小倉健一	小森隆一	菅原達	久保貴洋	川嶋嘉一	滝田洋子	鶴見義明	慶野常夫	山菅直己
－	菅原達議員に対する懲罰動議	懲罰を科さない	12	11	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	○	除斥	×	○	○	○	×	×
決議案第1号	菅原達議長に対する不信任決議	否決	11	12	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	除斥	○	×	×	×	○	○
意見書案第1号	地域医療・介護提供体制の維持に向けた支援を求める意見書について	原案可決	12	11	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	○	議長	×	○	○	○	×	×
議案第68号	市長の専決処分事項の承認について	承認	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	×	○	○
陳情第1号	医療・介護提供体制の維持に向けた意見書提出を求める陳情	採択	12	11	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	○	議長	×	○	○	○	×	×
陳情第2号	こどもクラブの入所要件及び制度運用に関する陳情	採択	12	11	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	○	議長	×	○	○	○	×	×

※○＝賛成 ×＝反対

※菅原達議長は採決に加わりません。

※菅原達議員に対する懲罰動議の賛成、反対は、懲罰特別委員会の委員長報告(懲罰を科さない)に対するものです。

※菅原達議員に対する懲罰動議及び決議案第1号は可否同数で議長が除斥のため、副議長裁決となりました。

※除斥とは議会における審議の公正を保つために、議案と一定の利害関係を持つ議員は、当該議案の審議に参加することができないとする制度です。

決議案の審議結果

決議案第1号

菅原達議長に対する不信任決議

定例会最終日(6月22日)に、(提出者)山菅直己議員、久保貴洋議員(賛成者)慶野常夫議員、小倉健一議員、澤田裕之議員、栗崎卓二議員、茂木明男議員、横塚剛議員、田邊直美議員、大山圭司議員、堀川悦郎議員により、菅原達議長に対し、議長の不信任決議案が提出され、常任委員会への付託を省略し、賛成少数で否決されました。



▲ 全文は、こちらから
ご覧になれます。

請願・陳情の審査結果

請願第1号

通学用スクールバスの運用形態に関する請願

▼請願人

君田町会 町会長 横山 芳久 ほか81人

▼紹介議員

井川 克彦 議員

▼請願の要旨

かえで義務教育学校設立に伴う新規スクールバス通学における乗降可能距離2km及び停留所基準の見直しについて請願します。

▼審議結果

本請願は2月定例会において経済文教常任委員会に付託審査され、継続審査になっていましたが、6月定例会において再度審査され、採択となりました。本会議においても全議員が賛成し採択となりました。



▲ 全文は、こちらから
ご覧になれます。

陳情第1号

医療・介護提供体制の維持に向けた意見書提出を求める陳情

▼陳情人

栃木県民主医療機関連合会 会長 関口 真紀

▼陳情の要旨

私たちは、栃木県内において医療・介護事業を担う医療機関・事業所の連合体として、現在の医療機関経営及び人材確保の現状について報告し、地域医療・介護体制の持続可能性確保のため、国に対し「地域医療・介護提供体制の維持に向けた支援を求める意見書」の提出を求め、陳情します。

▼審議結果

厚生常任委員会に付託され、賛成多数で採択となりました。本会議においても賛成多数で採択となりました。



▲ 全文は、こちらから
ご覧になれます。

陳情第2号

こどもクラブの入所要件及び制度運用に関する陳情

▼陳情人

個人情報のため非公開

▼陳情の要旨

佐野市におけるこどもクラブ(放課後児童クラブ)の年度途中入所運用について、保護者が産前産後休業及び育児休業を取得し職場復帰する際、休業前に利用していたこどもクラブへ確実に再入所(復帰)できる救済措置及び優先枠を設ける運用の見直しを求めます。

また、住む地域(学校区)によって小学校3年生以上の受け入れの可否が分かれ、特定の保護者のみが民間学童の自己探求や離職を強いられている不合理的な地域格差を早急に是正することを求めます。

▼審議結果

厚生常任委員会に付託され、賛成多数で採択となりました。本会議においても賛成多数で採択となりました。



▲ 全文は、こちらから
ご覧になれます。

意見書案の審査結果

意見書案第1号

地域医療・介護提供体制の維持に向けた支援を求める意見書について

(提出者)小森隆一議員(賛成者)菰原政夫議員、猪瀬朱美議員、立川俊一議員より、地域医療・介護提供体制の維持に向けた支援を求める意見書案が提出され、常任委員会への付託を省略し、賛成多数で可決されました。

意見書は、佐野市議会として内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長に提出しました。



▲ 全文は、こちらから
ご覧になれます。

地域医療・介護提供体制の維持に向けた支援を求める意見書

近年、医療機関及び介護事業所の経営環境は、急速に厳しさを増しています。

物価やエネルギー価格の高騰、人件費の上昇に加え、診療報酬・介護報酬が現場の実態に十分対応していないことから、全国各地で医療機関の経営悪化が指摘されています。

県内医療機関を対象とした調査においても、診療報酬改定後に「減収減益」と回答した医療機関が多数を占めるなど、経営の厳しさが広がっています。また、看護師をはじめとする医療・介護人材の不足が続いており、救急医療や在宅医療など地域に不可欠な医療機能の維持にも影響が及ぶことが懸念されています。

さらに、将来の担い手の確保にも大きな課題が生じています。

近年、看護学校への入学者数が減少傾向にあり、定員割れが生じている学校も見られ、また、介護専門学校においても入学者の減少が続いており、将来的な医療・介護人材の確保に対する不安が高まっています。

医療と介護は、国民の生命と健康を守る社会基盤であり、地域住民が安心して暮らし続けるために不可欠な存在です。医療機関や介護事業所の経営が不安定になれば、地域医療・介護提供体制そのものが揺らぎかねません。

よって、国においては、地域医療と介護提供体制を将来にわたり維持するため、下記の項目について、早急に取り組むよう強く要望します。

記

- 1 医療機関及び介護事業所の経営安定のため、緊急的な財政支援を実施すること。
- 2 物価上昇や人件費上昇の実態を踏まえ、診療報酬及び介護報酬について必要な期中改定や抜本的な見直しを行うこと。
- 3 医師、看護師、薬剤師、介護職員等の確保を図るため、養成・修学支援や地域定着対策を一層強化すること。
- 4 看護学校及び介護人材養成機関の入学者減少に対応するため、修学支援制度の拡充など人材養成への支援を強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

令和8年6月22日

佐野市議会

懲罰特別委員会が開かれました

菅原達議員に対する懲罰動議の提出

定例会初日（6月5日）に、慶野常夫議員、小倉健一議員、澤田裕之議員、横塚剛議員より、菅原達議員に対する懲罰動議が提出され、懲罰特別委員会が設置されました。

委員会での審査の結果、懲罰を科さないことに決定しました。本会議においても、採決の結果懲罰を科さないことに決定しました。

用語説明

👍 懲罰特別委員会とは・・・

懲罰動議が提出された場合、懲罰の審査を行うために設置される特別委員会であり、当該委員会への付託を省略して議決することができません。

👍 懲罰とは・・・

議会の自律権に基づき、議会の秩序維持と品位保持のために認められる議会の内部的規律作用です。地方自治法第134条に規定され、地方自治法、会議規則、委員会条例に違反した議員に対し、議決により以下の懲罰を科すことができるものです。

- ①戒告（公開の議場において、懲罰事犯者に対し、議長が戒告文を朗読する処分）
- ②陳謝（公開の議場において、懲罰事犯者がその事犯について陳謝文を朗読する処分）
- ③出席停止（議会の会期中、一定期間、会議、委員会への出席を停止する処分）
- ④除名（議員の身分を失わせる処分）

議会報告会を開催します



日時

2026年11月7日(土)
午後2時から午後4時

場所

佐野市役所7階 委員会室
(受付開始：午後1時30分)

☑ 1人から参加できます

☑ 申込は不要です

☑ 必ず議員とお話しできます

☑ 時間内であれば
出入り自由です

☑ 議場見学のおまけつき

令和7年度の

政務活動費の 収支状況を公開します。

政務活動費とは・・・

議員の研究研修、調査、広報、広聴、その他の調査研究活動に役立てるため、必要な経費の一部として交付されるものです。

本市では、議員1人当たり年額30万円(1か月当たり2万5千円)が一括で交付されます。交付された議員は、毎年4月30日まで現金出納簿及び領収書等を添付して、収支報告書を提出します。なお、残額があるときは市に返還することになっています。

別記様式第4号（第5条関係）

令和8年4月 日

佐野市議会議員 様

議員の氏名

令和7年度 政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

令和7年5月13日佐野市指令議第1号で交付決定の通知のありました政務活動費について、佐野市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により、次のとおり報告します。

1 収 入
政務活動費 300,000円

科 目	金 額	備 考
研究研修費	円	
調査旅費	円	
資料作成費	円	
資料購入費	円	
広報費	円	
広聴費	円	
人件費	円	
その他の経費	円	
合 計	円	

3 残 額 円

(注)備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

▲政務活動費収支報告書例

区 分	内 容
研究研修費	議員が研究会、研修会等を開催するために必要な経費または議員が他の団体の開催する研究会、研修会等に参加するために必要な経費 ※党費、党大会の参加費、賛助金、党大会参加のための旅費、懇親会会費などは対象外です。
調査旅費	議員が行う調査研究活動のための先進地調査または現地調査に必要な経費 ※観光を目的とする旅費、視察中の飲食費などは対象外です。
資料作成費	議員が行う調査研究活動に関する資料の作成に必要な経費 ※選挙活動用資料作成費、党の機関紙発行費などは対象外です。
資料購入費	議員が調査研究活動を行うための図書、資料等の購入に必要な経費 ※一般紙の新聞代は、2紙目以降分が対象になります。 ※所属政党の機関紙・新聞代、一般的な図書の書籍代などは対象外です。
広報費	議員が調査研究活動、議会活動及び市の政策について住民に報告し、または広報するために必要な経費 ※政党の広報紙、選挙ビラ作成費などは対象外です。
広聴費	議員が住民からの市政及び議員の政策等に対する要望または意見を聴取するための会議等に必要な経費 ※親睦会経費、懇親会経費、政党活動・後援会活動に要する費用などは対象外です。
人件費	議員が行う調査研究活動を補助する臨時の職員を雇用するために必要な経費 ※秘書的な経費、報告会・公聴会の会場設営に係る賃金などは対象外です。
その他経費	上記以外の経費で議員が行う調査研究活動に必要な経費 ※香典、祝金、寸志、餞別、見舞金、慶弔電報料金、年賀状代、名刺印刷代、自家用自動車に係る経費などは対象外です。

佐野市議会 令和7年度 政務活動費収支状況

(単位：円)

No.	議員氏名 (50音順)	交付額	実支出額の内訳						実支出額 合計	残 額 (返還額)
			研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	その他経費		
1	井川 克彦	300,000	2,000	0	0	0	663,816	0	665,816	0
2	猪瀬 朱美	300,000	3,000	0	0	19,200	33,590	896	56,686	243,314
3	大山 圭司	300,000	110,740	123,266	4,135	32,400	1,966	0	272,507	27,493
4	小倉 健一	300,000	41,320	123,266	6,835	57,600	1,966	0	230,987	69,013
5	川嶋 嘉一	300,000	0	106,080	0	0	276,274	0	382,354	0
6	久保 貴洋	300,000	3,000	220,930	0	104,400	1,966	0	330,296	0
7	栗崎 卓二	300,000	3,000	220,930	0	77,880	1,966	0	303,776	0
8	慶野 常夫	300,000	0	123,266	0	0	230,450	0	353,716	0
9	小森 隆一	300,000	55,160	76,060	0	97,156	1,966	0	230,342	69,658
10	澤田 裕之	300,000	3,000	220,930	0	0	253,804	0	477,734	0
11	神宮次秀樹	300,000	3,000	181,890	0	46,800	1,966	0	233,656	66,344
12	菅原 達	300,000	3,000	80,580	11,124	2,355	48,166	0	145,225	154,775
13	滝田 洋子	300,000	57,440	0	7,173	6,700	254,456	0	325,769	0
14	立川 俊一	300,000	3,000	0	0	0	459,611	0	462,611	0
15	田邊 直美	300,000	3,000	220,930	0	101,674	1,966	0	327,570	0
16	谷 美枝子	300,000	3,000	76,060	0	23,400	14,487	0	116,947	183,053
17	鶴見 義明	300,000	81,860	0	0	53,450	75,292	0	210,602	89,398
18	長浜 成仁	300,000	63,000	32,560	0	129,306	85,236	0	310,102	0
19	穂原 政夫	300,000	3,000	203,090	0	0	51,466	0	257,556	42,444
20	早川 貴光	300,000	0	0	25,900	0	0	3,397	29,297	270,703
21	堀川 悦郎	300,000	0	247,350	0	97,900	0	0	345,250	0
22	茂木 明男	300,000	3,000	220,930	0	3,300	87,766	0	314,996	0
23	山菅 直己	300,000	2,000	123,266	42,950	46,800	1,966	0	216,982	83,018
24	横塚 剛	300,000	3,000	104,800	0	5,830	195,566	0	309,196	0

※広報費及び人件費については、いずれの議員も支出がなかったため省略しています。

※上記の収支報告書、現金出納簿、領収書等は、佐野市議会ホームページでご覧いただけます。

また、議会事務局(佐野市役所7階)においても閲覧することができます。閲覧時間は、
開庁日の午前8時30分から午後5時15分までです。

政務活動費 佐野市

検索



令和8年9月定例会日程(案)

令和8年9月定例会の日程は、8月28日(金)の議会運営委員会で内定し、9月4日(金)の本会議で決定します。

8/24日(月)	25日(火)	26日(水)	27日(木)	28日(金)	29日(土)	30日(日)
		請願・陳情 提出期限(17:00)		10:00 議会運営委員会		
31日(月)	9/1日(火)	2日(水)	3日(木)	4日(金)	5日(土)	6日(日)
				10:00 本会議 (開会、議案説明)	休会	休会
7日(月)	8日(火)	9日(水)	10日(木)	11日(金)	12日(土)	13日(日)
休会	10:00 本会議 (議案質疑)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	休会	休会
14日(月)	15日(火)	16日(水)	17日(木)	18日(金)	19日(土)	20日(日)
10:00 本会議 (一般質問)	9:00または10:00 建設常任委員会 13:30 厚生常任委員会	9:00または10:00 経済文教常任委員会 13:30 総務常任委員会	休会	9:00 決算審査特別委員会	休会	休会
21日(月・祝)	22日(火・祝)	23日(水・祝)	24日(木)	25日(金)	26日(土)	27日(日)
休会	休会	休会	9:00 決算審査特別委員会	9:00 決算審査特別委員会	休会	休会
28日(月)	29日(火)	30日(水)	10/1日(木)	2日(金)	3日(土)	4日(日)
9:00 決算審査特別委員会	9:00 決算審査特別委員会	休会	10:00 本会議 (委員長報告、質疑、 討論、表決、閉会)			

※建設常任委員会及び経済文教常任委員会の開会時間は、付託された議案・請願・陳情の件数が6件以下の場合は午前10時に開会し、7件以上の場合は午前9時に開会となります。

全国市議会議長会から 表彰され、表彰状の 伝達式を行いました



全国市議会議長会から在職15年以上により、井川克彦議員が表彰されました。6月定例会の初日に表彰状の伝達式を行いました。



在職15年以上

井川克彦 議員

防災対策は今議会でも多く取り上げられたテーマです。今年は多くの強い勢力の台風が日本へ接近すると予想されています。この機会に、地域のハザードマップや避難経路、備蓄品の確認など、早めの備えを進めていただければと思います。

(澤田記)

6月定例会は6月5日から22日までの18日間で行われ、一般質問では19人の議員が登壇し、新教育長就任の所感をはじめ防災対策、教育問題、福祉・介護対策など幅広い分野について質問がされました。

編集後記

【編集委員会】
委員長 早川 貴光
委員 澤田 裕之
委員 小森 隆一
委員 小倉 健一
委員 鶴見 義明